

y フェスティバル バスの乗り方教室の実施結果について

1. 目的

「y フェスティバル」に来場する方（親子、地域住民等）を対象として、バスの乗り方教室やペーパークラフト作成、ぬり絵体験、パンフレット配布を実施することにより、路線バスに対する親近感の醸成や周知啓発に努めるとともに、アンケートを実施することで、公共交通の役割・必要性を考えてもらう機会を提供するもの。

2. 実施概要

開催日：平成27年9月13日（日）午前10時～午後4時

「乗り方教室」実施時間は午前10時半・11時半、午後1時・3時の4回

場 所：相模原市立青少年学習センター（中央区矢部新町3-15） 042-751-0091

対象者：来場者（児童及びその保護者、地域住民等）

「乗り方教室」の当初予定していた午後2時の回は、参加者がいなかったため開催せず

3. タイムテーブル 乗り方教室 午前10時半、11時半、午後1時、3時

所要時間	内 容
3分	挨拶及び資料配布
5分	バス車両前で説明 ・自動車と公共交通のちがい
10分	乗り方教室 ・乗車～降車までの一連の流れ、車内マナー、降車時の安全確認について説明・体験
-	終了後アンケート記入のお願い

4. スタッフ配置

担 当	
挨拶	相模原市
説明	相模原市
乗車体験	(株)相模神奈交バス
テント内補佐	大野北地区コミュニティバス利用促進協議会

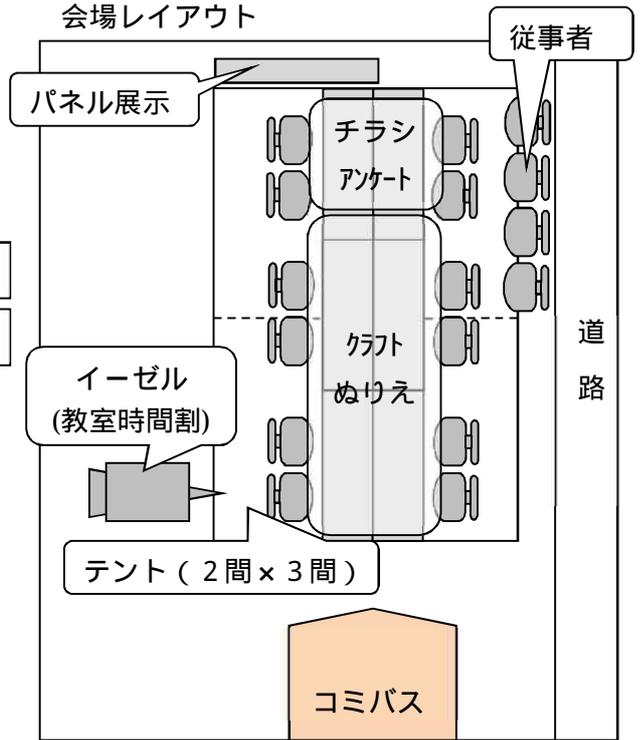
「乗り方教室」の流れ

- ・順番待ち（乗車ドアは開放） 整理券を取って乗車 停車ボタンを押す 運賃表を確認 整理券を料金箱に入れてバスを降りるまでの一連の流れを体験する。
- ・降車時は、自転車との接触の危険性などを注意するアナウンス。

会場位置図



会場レイアウト



実施状況



< のりものクイズ >



< バスの乗り方教室 >



< ぬりえ・ペーパークラフト >



< ぬり絵の車内展示 >

配布資料（乗り方教室レジュメ 大人用）

バスの乗り方について

① バス停でバスを待ちます

- バス停で、行き先と時刻表を確認します。
- バスが到着したら、バスの前面にある行先表示器を見ます。

LED行先表示器

相40 大野北コミュニティバス
中乗り 矢部駅・淵野辺駅

※以前設置のLED行先表示器の系統番号下に「中乗り」と表示しています。

② バスに乗るとき

- 「中乗り」と表示されている場合は、バスの「中ドア」から乗車します。
- それ以外は、バスの「前ドア」から乗車します。

（前ドアから乗る場合は、バスから人が降りてから乗車します。）

現金・かなちゃん手形・定期券で乗るとき

→ 整理券発券器から「整理券」を取ります。

ICカード（PASMO、Suica 等）で乗るとき

→ ICカード読み取り部にタッチします。（始発でも読み取り部にタッチが必要です。）

③ バスの中では

- 車内で転倒しないために、空いている座席に座るか、立っているときは、手すり・つり革につかまってください。
- 両替、席の移動は停車中にしてください。

※ かなちゃん手形とは、65歳以上の方ならどなたでもご購入でき、神奈川・神奈川各社の路線バスが1乗車現金100円で利用できます。

④ バスを降りるとき

- 降車ボタンを押します
 - 車内の放送で、降りるバス停の案内があったら、降車ボタンを押します。
- 運賃を確認します
 - 車内前方の運賃表に「次に停まるバス停」と「運賃」が表示されています。
 - 運賃は降りるバス停が表示されてから確認します。
 - 整理券と同じ番号を探します。整理券番号の下が運賃（上：現金 下：IC）です。
- 運賃を払ってバスを降ります
 - 現金・かなちゃん手形・定期券で降りるとき
 - 現金：運賃箱に「運賃」と「整理券」を入れます。
 - かなちゃん手形：乗務員に手形を見せて、運賃箱に「100円」と「整理券」を入れます。
 - 定期券：乗務員に定期券を見せて、運賃箱に「整理券」を入れます。
 - ICカード（PASMO、Suica 等）で降りるとき
 - ICカード読み取り部にタッチします。
- 降りるときに注意すること
 - バスを降りるときはバスが停まってから座を立ってください。
 - バスを降りるとき、自転車が走ってくることもあるので、周囲の安全を確認しましょう。

ここを押す

降車ボタン

次に停まるバス停

運賃 (現金) 200
運賃 (IC) 150

現金・かなちゃん手形と一緒
に運賃箱に入れます
お返し (千円札、硬貨)
が必要です。

ICカードは読み取り部
に1秒以上タッチします

※ かなちゃん手形とは、65歳以上の方ならどなたでもご購入でき、神奈川・神奈川各社の路線バスが1乗車現金100円で利用できます。

配布資料（乗り方教室レジュメ 子ども用）

バスの乗り方について

ここでは「バスの乗り方」（前ドアから乗って前ドアから降りる）や、「お金の払い方」（降りるときに運賃を払う）を説明します。

① バス停でバスを待ちます

- 順番に並びましょう。
- いろいろな行き先のバスが停まるので、自分が乗るバスが、乗る前によく確認しましょう。

★バスの前面に行き先が表示されているので、よく確認しましょう。

★わからないときは、バスに乗るときに運転手さんに聞いてみましょう。

② バスに乗るとき

- 前ドアからバスに乗ります。

運賃を現金で払う場合…

① から「整理券」を取ります。

運賃をICカード（PASMO・Suica）で払う場合…

② にカードをタッチします。

③ バスの中ではマナーを守ろう

バスはみんなの乗り物です。バスの中ではマナーを守って乗りましょう。

バスのなかでは、さわいったり、あばれたりしないようにしましょう。

あやしいより

バスのなかでは、さわいったり、のんだりしないようにしましょう。

おとしよりやにんぎょうさんには、すすんでせきをゆずりましょう。

バスのなかでは、たべたり、のんだりしないようにしましょう。

④ バスを降りるとき

- 降車ボタンを押します
 - バスの車の放送で、降りたいバス停の案内があったら、近くにある降車ボタンを押しましょう。（ボタンを押すと赤く点灯します）
- 運賃（お金）を確認します
 - バス車内の前のほうに、「次に停まるバス停」と「運賃」が表示されています。
 - 運賃は、自分が降りるバス停が表示されてから確認しましょう。
 - 表示されている運賃は大人料金です。小学生以下は大人料金の半額になります。
 - わからないときは、運転手さんに聞きましょう。
- 運賃（お金）を払ってバスを降ります
 - 運賃を払って、前ドアからバスを降ります。
 - 運賃を現金で払う場合…
 - ① に「整理券」と運賃を入れます。
 - 運賃をICカード（PASMO・Suica）で払う場合…
 - ② にカードをタッチします。
- 注意すること！！
 - バスを降りるとき、バスが止まるまで立ち上らないようにしましょう！
 - バスを降りるとき、自転車が走ってくることもあるので、周囲の安全をよく確認しよう！
 - バスの運転手さんから見えにくい箇所があるので、バスの前後で横断することはやめてね！

ここを押す

降車ボタン

次に停まるバス停

運賃 (現金) 200
運賃 (IC) 150

現金・かなちゃん手形と一緒
に運賃箱に入れます
お返し (千円札、硬貨)
が必要です。

ICカードは読み取り部
に1秒以上タッチします

アンケート調査結果

・配布・回収状況

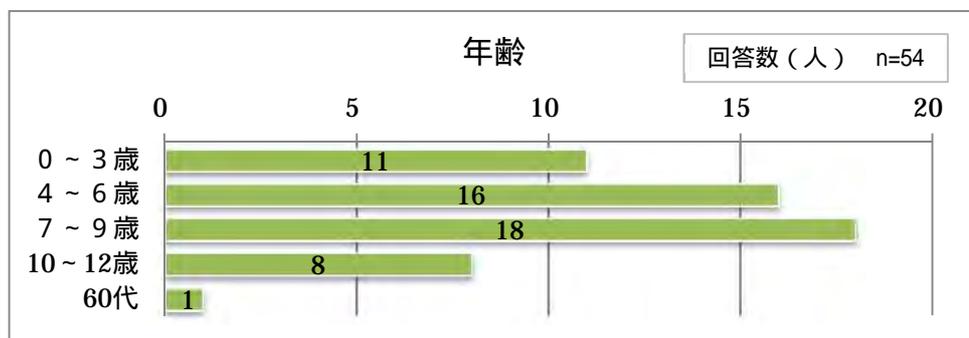
アンケート調査は、乗り方教室参加者（73人）を対象として、1家族1票（44票）回収した。

乗り方教室は、1回目13人（10:30開催 大人5人、子ども8人）、2回目20人（11:30開催 大人5人、子ども15人）、3回目20人（13:00開催 大人7人、子ども13人）、4回目20人（15:00開催 大人8人、子ども12人）が参加した。

回答数については、質問ごとに回答いただいた人数となっている。

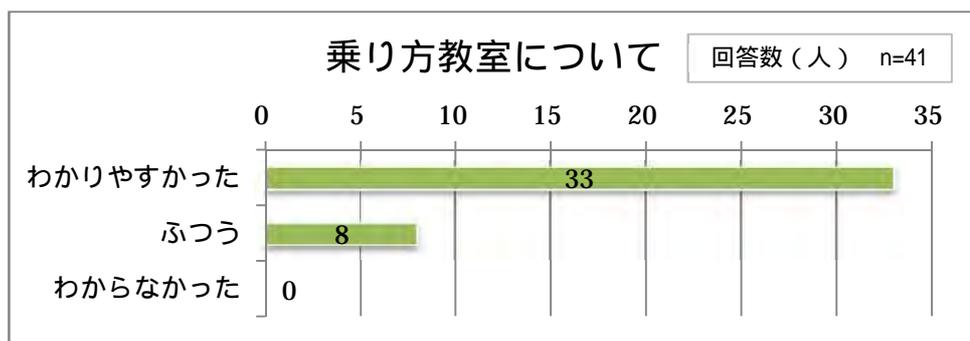
質問1 参加者年齢について（保護者と参加する場合は被保護者の年齢）

乗り方教室の参加者は、「7～9歳」が最も多く、次いで「4～6歳」となっており、本イベントを活用した事業は期待していた年齢層への訴求ができた。



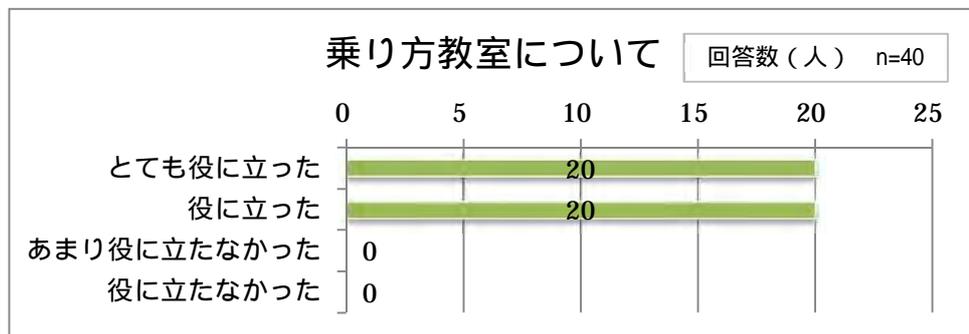
質問2 乗り方教室の説明について

乗り方教室の説明については、「わかりやすかった」が33人となっており、聞きやすい内容であったと判断できる。



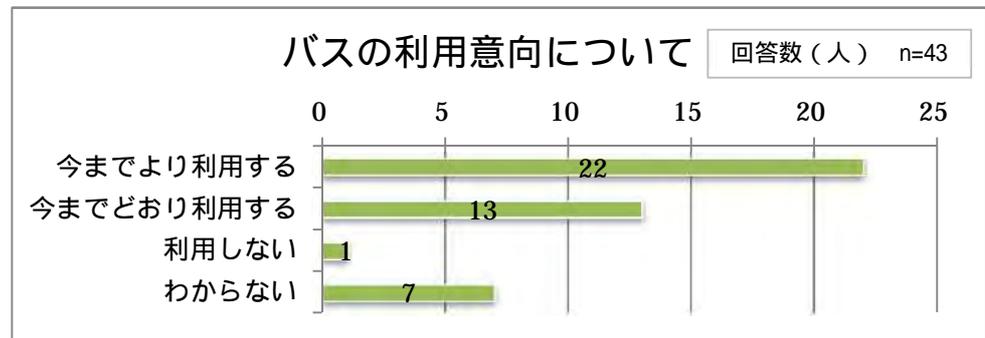
質問3 乗り方教室について

乗り方教室について、「とても役に立った」及び「役に立った」がそれぞれ20人となり、参加者にとっては有意義な内容であったと判断できる。



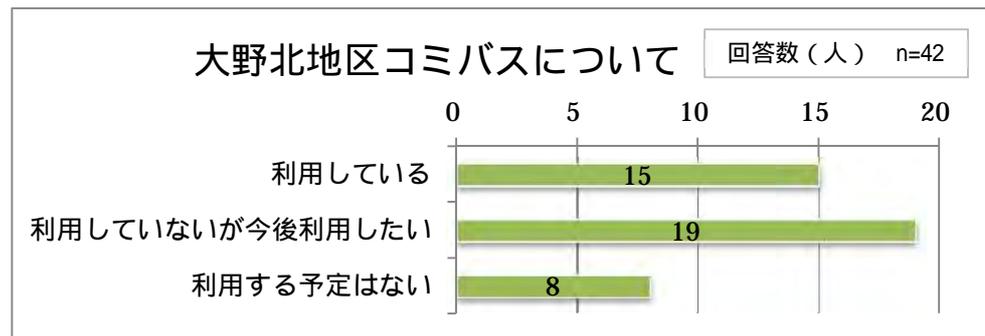
質問4 今後のバスの利用意向について

バスの利用意向は、「今までより利用する」が22人と最も多く、本事業が公共交通を利用する意識変容のきっかけになった。



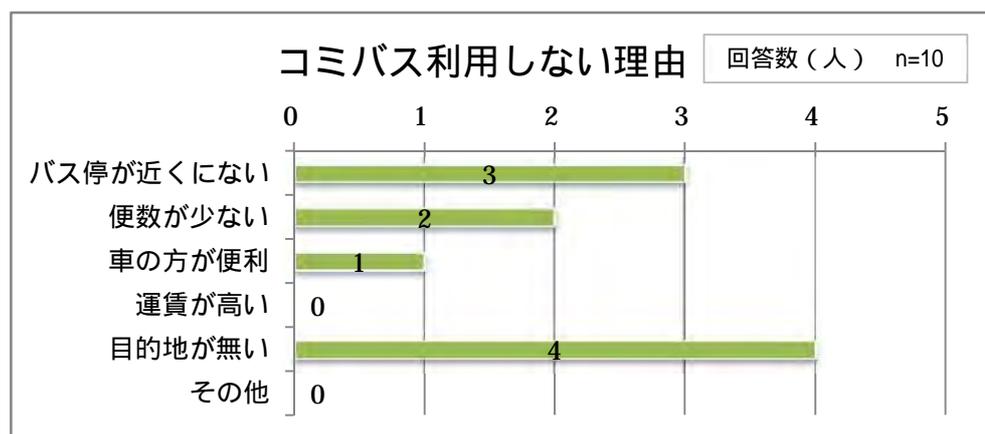
質問5 大野北地区コミュニティバスの利用状況について

大野北地区コミュニティバスの利用状況は、「利用している」が15人だが、「利用していないが今後利用したい」が19人となり、本事業が今まで大野北地区コミュニティバスを利用していなかった住民への意識変容のきっかけになった。



質問6 大野北地区コミュニティバスを利用しない理由

大野北地区コミュニティバスを利用しない理由は、「目的地が無い」が4人、次いで「バス停が近くにない」が3人となり、運行ルートについての意見が確認された。



質問7 今回の取組みについて

今回実施した場所及び内容について、「今後もここで続けて欲しい」が30人、次いで「違う場所で開催して欲しい」が6人で、本イベントでの継続した実施を望んでいることがわかった。なお、違う実施場所としては、「幼稚園」「市役所」「桜まつり等のおまつり」が挙げられている。



質問8 自由意見(感想、良かった点、改善点)

バスに乗る体験をする機会があったことは大変良かったと思います。

初めてバスに乗れたのでうれしそうでした。キップの経験もさせてもらい、ありがたいです。

ピンクのバス、とてもかわいかったです。

バスが少しでも近所を走ってくれると子どもたちはもっと喜ぶと思います。

運転席に乗れたり、子どもが喜んでいました。

すごくたのしかった。

とても良い体験ができました。またぜひ行きたいです。

ボタンを押せてたのしかったです。

分かりやすくすごく楽しかったです。「とまる」のボタンを押せて楽しかったです。

本当に道をはしってほしい。

役に立ってわかりやすかった。

運転席にのれてよかったです。

大野北地区コミュニティバスもっと小さいマイクロバスにして本数を増やして欲しい。上矢部方面の人は便利になると思う。

バス停をいろいろな所にちらばすと、いいと思います。

本物の運転席なんて乗る機会がないので、とても貴重な体験でした。

(コミバスについて) 便利なのでなくならないで欲しいが、幼稚園や学校の行事に利用する際に時間が合わない。